



前後進低速電動ウォーカー（家庭用） DK-208

取扱説明書



ご注意下さい！

本製品のスタート時の速度は 1.0km/h からはじまりますので、走行ベルトの上ののってスタートボタンを押さないようにしてください。

- この度は【前後進低速電動ウォーカー DK-208】をお買い上げいただきまして、誠に有難うございます。
- ◎ 本説明書を最後までお読み頂き、内容を理解した上で組立作業や運動を行うようにして下さい。
 - ◎ 本書の巻末に「保証書」がついていますので、送り状の控えとともに大切に保管して下さい。
 - ◎ ご不明な点がある場合その都度読み直して頂き、正しくご使用下さい。
 - ◎ 本機は家庭用です。改良のため、デザイン・仕様を一部変更している場合があります。
 - ◎ 計測数値等に関しましては、誤差がございますので御了承ください。

安全上の注意

取扱説明書の注意及び警告内容は、危険の度合いによって2段階に別れております。記載されている内容をよく理解していただき、取扱説明書に従ってご使用ください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告 誤った取扱いをすると人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容



注意 誤った取扱いをすると人が障害を負う可能性及び物的被害の発生が想定される内容



警告

☆使用上の警告

- 1) 無理をせず軽いスピードから始めて下さい。
- 2) 急激な運動は体に負担が掛かりますので、少しでも異常を感じましたら運動を中止して医者にご相談下さい。
- 2) お子様、本機で遊ばないようにして下さい。また、使用中はお子様近づかないようにして下さい。お子様、お年寄りの方が運動される際には、必ず付添の人をつけて行って下さい。
- 3) お年寄り・体の不自由な方、病気をお持ちの方のトレーニング・リハビリ用にご使用の場合、必ずかかりつけの医師にご相談下さい。特に次のような方
(心臓病・高血圧・糖尿病・呼吸器疾患・妊娠中・ペースメーカー・人口心肺装着の方)
- 4) 分解・改造は行わないで下さい。内部点検や修理の際は販売店までお申し付け下さい。
- 5) 各部の機能が正しく作動しているかどうか、またネジ・ボルト等の緩みやガタがないか、使用前に必ず点検して下さい。
- 6) 乗降する場合には、ハンドルや手すりにもたれかかったり、使用中に周囲の人が製品及び使用者を押ししたり、引いたりしないで下さい。運動の妨げとなったり、安全性を損ないケガをしたりする場合があります。
- 7) 同時に2人以上でご使用なさないで下さい。

☆電気器具の警告事項

- ① 使用電源については、次の事項を必ず守って下さい。
 - 電源は定格 15A 以上のコンセントを単独で使用してください。他の器具と共用すると器具の加熱により火災の原因となります。
 - 交流 100V 以外で使用しないでください。火災、感電の原因となります。
- ② 電源コードの取扱いについては、次のことを必ず注意してください。間違った取扱いをされると感電の原因になります。
 - 電源コードやプラグが傷んでいたりする時。
 - コンセントの差し込みが緩い時。
 - 電源コードの上に重いものを載せた時。
 - 電源コードを曲げたり、束ねたりした状態でご使用になった時。
 - 濡れた手でプラグ・電源コード等に触れた時。
 - 長期間ご使用にならない時。
(安全のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。)
 - 中継線(延長コード)を御使用の時。
(延長コードで中継することにより低電圧状況を引き起こし誤作動の原因となりますので、コンセントに直接電源コードを接続して下さい。)
 - 電源コードの先にはアース線が付いております、万一の漏電事故を防ぐため、接続してください。
- ③ モーター保護のため 60 分以上の連続使用はおやめ下さい。
- ④ 万一、異常な音、におい、煙が出たときには、電源を切り、電源コードを抜いて販売店もしくは当社までご連絡下さい。(最終ページの保証書欄をご参考にご連絡下さい。)



注意

☆ 使用上の注意事項

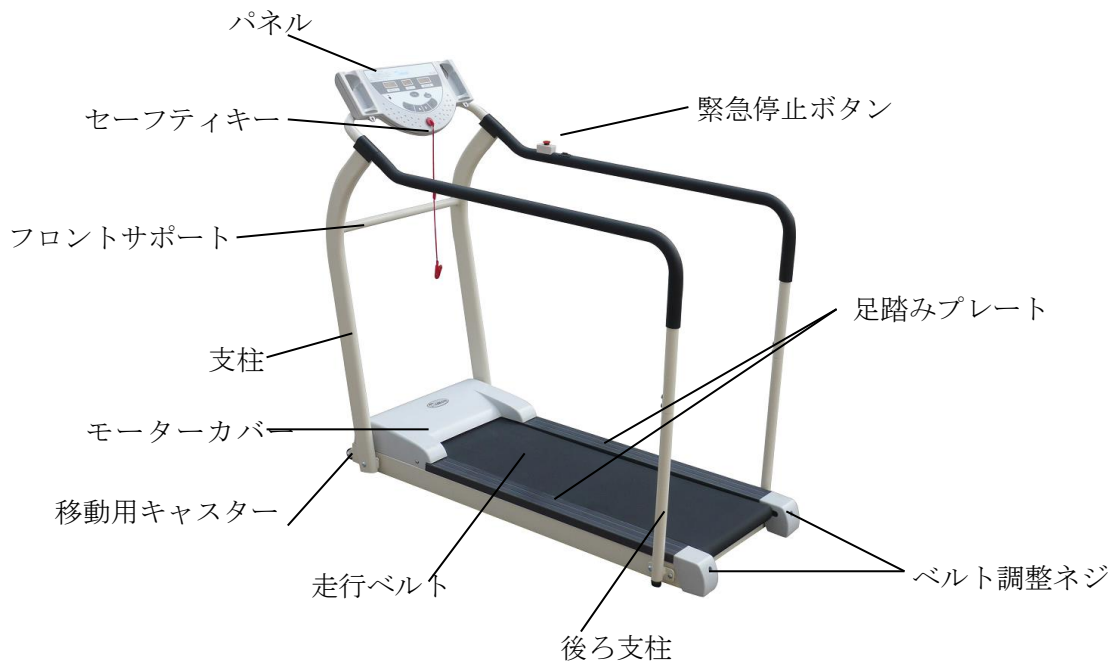
- 1) トレーニングの前後に必ずストレッチ（準備体操）を入念に行ってください。
トレーニングをするたびに、筋肉はほんの少し傷みます。そのままにしておくと筋肉が縮み、その状態で数年間スポーツを行うと、筋肉が堅い弦の様に簡単に切れやすくなります。ストレッチは、必ずトレーニング前後に行うように習慣をつけましょう。
- 2) 食後のトレーニングはやめましょう。胃に流れる血液が、体を使うことによって胃に流れにくくなって消化に影響を与えるので、食後2時間位あけてトレーニングをして下さい。
- 3) 本機ご使用の際は、必ず運動靴を履き、回転、駆動部に巻き込まれる恐れのない紐等のない服装でご使用下さい。
- 4) 運動方法につきましては、使用方法以外での使用はおやめ下さい
- 5) 本機は一般家庭用のトレーニング機として作られていますので、一般家庭以外でのご使用はおやめ下さい。
- 6) 異物を商品内部に入れないでください。異物が入ったまま使用すると、故障の原因となります、特にお子様のおられるご家庭では注意して下さい。
- 7) 体重が100Kg以上の方はご使用なされないようにして下さい。
- 8) サビの発生や負荷の調節不調、メーター等の故障の原因となりますので次の場所には設置、保管はしないで下さい。
 - ・直射日光、暖房設備、火気のために著しく温度が上昇する場所
 - ・屋外（屋根付きのガレージ等を含む）の設備や浴室付近等の湿気の多い場所
 - ・磁気や電氣的雑音の発生しやすいものの近く
- 9) 使用しない場合には、電源コードを抜く等作動しない状況にして頂き、特に幼児が触らない様注意して下さい。

☆ 保管上の注意事項

- ご使用前にはハンドル・手すり・接合部分のガタや、緩み等がないよう確認して下さい。
- 本機は使用中の運動が十分確保できる水平な床面に設置して下さい。
- 歩行面（ベルト）には、絶対に物を置かないで下さい。
- 本体カバー部は樹脂製です。カバー部・ハンドルには絶対に寄りかかったり、乗らないで下さい。
- ベルトに局部的に亀裂が発生すると進展し、使用中に破損等して危険なため必ず確認してからご使用ください。ベルトは消耗品のためご購入後3ヶ月以上経過したものは有償となります。
- カバー類、ハンドル部ラバー、足踏みプレート等の破損に関しては、初期不良以外すべて有償になります。
- ベルトが偏ったときはベルトの調節方法を見て調節を行ってください。
- 使用場所の周囲に物を置くと、思いがけないケガや事故につながりますので、必ず整理整頓してからご使用下さい。
- 本機は必ず平らな場所に設置して下さい。
- 廊下やフローリングまたは畳の部屋で組立てやご使用になると、床を傷つける場合があります。必ず、布やカーペットを敷いて傷を付けないようにして下さい。
- 本機を廃棄する場合は、粗大ごみとして各自治体の方法に従って処理してください。

製品仕様

品名	前後進低速電動ウォーカー	寸法	W64×L150×H131 (cm)
品番	DK-208	重量	54kg
材質構造	スチールパイプ・ウレタン 合板ボード・ABS樹脂	電源	AC100V 50～60Hz
パネル表示方式	液晶パネル	消費電力(最大)	800W
駆動方式	電動式	コード長	約2m
速度	前進:0.2～8km/h 後進:0.2～3km/h	モーター	2.0馬力(最大)
*スタート時は1.0km/hからになります。		ベルトサイズ	W37×L104 (cm)
脈拍検知方式	イヤースセンサー式	手すり高さ	一定(約80cm)
		生産国	中国



パーツ図表：

ネジ類・組立工具・付属品：



8×16mmボルト
12本



M8丸ワッシャー
6枚



M8平ワッシャー
6枚



ハンドルカバー
2個



イヤセンサー
1本



スパナ
1本



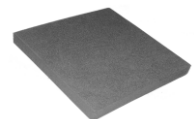
六角レンチ
1本



プラスドライバー
1本



セーフティキー
1個



床保護マット
6枚

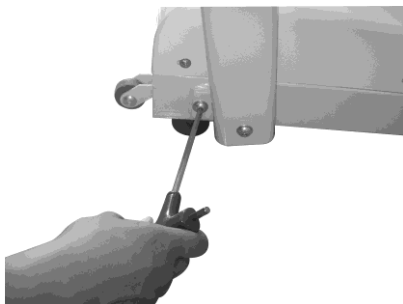
組立説明

組立を始める前のご注意

- ※ 組み立てる前に、電源コードを絶対に接続しないで下さい。
- ※ 広い場所を確保した上で作業を始めて下さい。
- ※ 作業をする前には、部品と必要な道具が全部揃っているかを確認して下さい。
- ※ 開梱及び組み立て時は、必ず2人以上で行って下さい。
- ※ 本機を箱から出したら、必ず走行面を上にし、本体が床面と水平になるよう設置した上で組立を行ってください。
- ※ 組立時、ボルトは仮締めにして、全体が組み上がってから、スパナ（レンチ）で、強めにネジをしめてください。

組立方法

- 1・本体を箱から出して、前方の左右支柱を引き起こし（起こす時際に、接続コードに傷を付けないようにご注意ください）、支柱の下方を8×16mmボルトとM8 平ワッシャーで固定してください。（図1 参考）



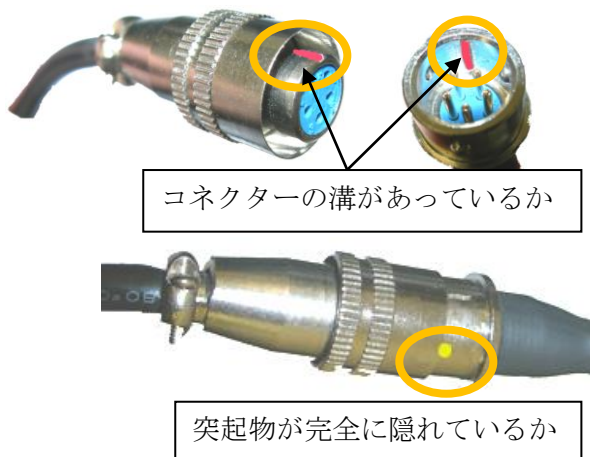
2・コードを接続します

右側手すりからの接続コネクタをパネル右側にあるコネクタと接続してください。（図2 参考）

- * コネクタの接続が確実にされていない場合、パネルが点灯せずスタートボタンを押しても作動しない場合がありますので、右の図を参考に確認作業を行ってください。



（図2）



- 3・手すりを前後の支柱に挿入後、8×16mmボルトとM8丸ワッシャで一旦仮止めにします。
すべてのボルトが仮止めできたら、すべてを本締めしてください。(図3参考)



(図3)

- 4・パネルを固定します。

パネルの角度を調整し、裏側のネジを締めて固定してください。(図4参考)

*パネルのコネクターが完全に挿入されているかを確認してください。



(図4)

- 5・ハンドルカバーを取付けます。

最後に、ハンドルカバーを上から取付けます。(図5参考)



(図5)

本体の移動について

まず支柱がしっかりと固定されているかどうか確認してください。

支柱を両手で持って、本体を持ち上げてフロントのキャスターを使って移動してください。

移動中に床面に傷が付かない、障害物に当たらないように配慮してから行ってください。



起動方法

ご注意ください！

スタート時の速度は 1.0km/h からはじまります。走行ベルトの上の
のってスタートボタンを押さないようにしてください。走行ベルトが動いている
の確認してから運動をはじめてください。

- 1 周囲の安全を確認して下さい。
- 2 電源コードをコンセントに奥までしっかりと差込んで下さい
- 3 電源コードを延長コード等、中継させるものを間に入れずに直接コンセントに差込んで下さい。
- 4 電源スイッチを入れて下さい。
- 5 ベルト脇の左右足踏みプレートに乗り、メーター中央下部にあるセーフティキーの上の凹部に重なるように磁石部を置いて下さい。（※セーフティキーを置かないとパネルが点灯しません。）
- 6 セーフティキーより伸びている紐の先端にあるクリップを衣服に付け、紐がたるみ過ぎない様結ぶなどして調節して下さい。（スピードについていけない時など紐のたるみがなくなり、セーフティキーが抜ける事により、ベルトが自動的に止まり、全ての作動が停止します。）



電源スイッチ ブレーカー 電源コード

※ブレーカーボタンは商品保護の為のものです。
過剰な電流が発生時、ブレーカーボタンが自動的に電源を切ります。この場合一度電源スイッチを切り、再び入れ直して、次に、ブレーカーボタンを押して下さい。

● 後進運動について

本機は、後進運動の機能が付いております。パネルの「後進」ボタンを押して、スタートボタンを押せばウォーキングベルトが逆回転します、後進運動（逆走）ができます、スピードは0.2 km/h ~3 km/h まで上げる事が可能です。後進運動は、前進運動よりバランスの維持が若干難しいですので、後進運動する際に、必ず手すりを握ってご使用してください。

* 後進運動を選択されると、プログラムの設定ができませんので、ご了承ください。

先に前進で運動を行っていた場合、必ずストップボタンを2回おしてパネル表示を「0」にしてから行ってください。（* 押さない場合には、後進運動は行えません。）

スタート時の速度は **1.0km/h**からはじまりますので、走行ベルトの上の
のってスタートボタンを押さないようにしてください。

●簡易心拍数表示機能

運動中、イヤセンサーを耳たぶ付近に付けることにより表示画面に心拍数が表示されます。

*運動中、脈拍が取れないことがあります。実際の数値とは異なりますので参考程度にご利用ください。

●緊急停止ボタン※パネル表示が出ない場合には確認してください！

運動中についていけない場合や足をとられた場合に、手すり右側に付いている赤いボタンを押すと、ベルトが止まります。解除する場合は、矢印方向へ回してください。（下図）

緊急停止ボタンが押されている場合、パネルの表示が消えます。解除をする場合には矢印の方向に軽く回して、解除を行ってください。

矢印の方向にまわします。



パネル消灯状態（側面図）
（緊急停止ボタンが下がっている状態）



パネル点灯状態（側面図）
※セーフティキーが置いてある前程
（緊急停止ボタンが上がっている状態）

終了方法

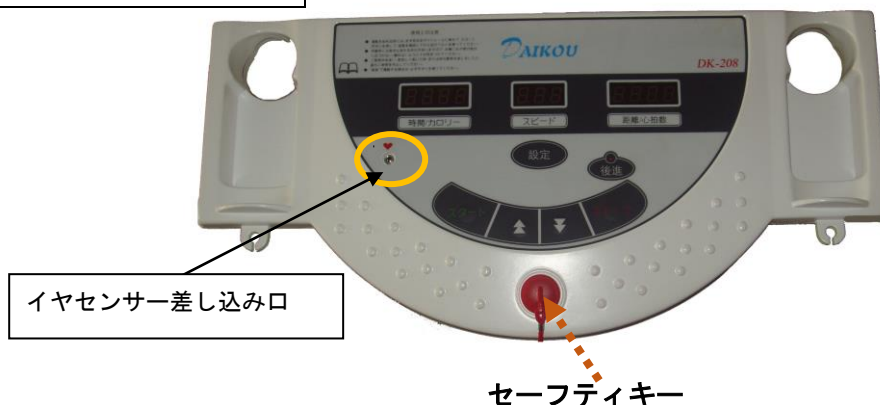
運動を終了する場合、ストップボタンを押して、ベルトを停止させて下さい。

安全に本機より降り、電源スイッチを切って、コンセントから電源コードを抜いて下さい。

※運動を終える際、緊急停止ボタン、セーフティキーで走行ベルトを止めないでください。

※ 本機を使用途中で一時停止する場合はパネルのストップボタンを1回押し、一時停止を解除する場合はスタートボタンを押して下さい。

メーターの使用法



イヤセンサー差し込み口

セーフティキー

(パネルに置かないと表示が出ず作動しません)

セーフティキー

本機は安全のため運動中についていけない場合や足をとられた場合にベルトが自動的に止まるように設定されています。
※置いていない場合にはパネルは点灯しません。

●操作パネル ボタンについて

スタート	運動開始とプログラムの作動を行います。
ストップ	一時停止と運動の停止を行います。
△ (速度アップ)	走行ベルト稼働時、ベルトの速度を速くします。 選択した目標数値を入力する。
▽ (速度ダウン)	走行ベルト稼働時、ベルトの速度を遅くします。 選択した目標数値を入力する。
設定	時間・距離・カロリーの設定を行います (* 時間とカロリー、距離と心拍数の表示は、設定ボタンにて切替えます)
後進	走行ベルト逆回転の切り替え (* 前進運動後に行う場合、必ずストップボタンを2回押してから行ってください。)

●表示の説明

時間	0~99 : 59 まで表示
距離	0~99.99km まで表示します。
カロリー	0~999Kcal を表示します。
スピード	前進 0.2~8km/h、後進 0.2~3km/h まで表示します。

*** スタート時は速度が 1.0km/h からはじまります。速度 1.0km/h 以下にしたい場合、走行ベルトが動き出した後、操作パネル等で速度をさげてください！**

心拍数 簡易的に心拍数を表示します。(イヤセンサーをご使用時のみ心拍数表示します)

各運動プログラム入力方法

足踏みプレート



※必ず足踏みプレートに足を乗せてからスタートボタンを押し、

走行ベルトが動いてからベルトに足を乗せて運動を始めてください。

<ご注意下さい！>

スタート時の速度は **1.0km/h**からはじまります。走行ベルトの上によってスタートボタンを押さないようにしてください。速度 1.0km/h 以下にする場合は走行ベルトを動かしてから速度ダウンボタンで速度を下げてください。

● すぐに運動を行いたい方へ・・・

- 1 スタートボタンを押すと、走行ベルトが 1 キロで動き始めます。速度が速いと感じた場合には、速度のダウンボタンを押し、速度を 0.2 キロまでさげてから運動を始めてください。
- 2 速度調整アップボタンとダウンボタンでスピードを上げ下げすることが出来ます。
- 3 本機を停止する場合はストップボタンを押して下さい。

● 目標時間設定

このプログラムは目標の時間とするものを設定し、運動頂くものです。

*設定によっては、最大使用時間（60分）を超えてしまうことがあります、最大使用時間を厳守してください。

- 1 「設定」ボタンを押し、「時間」を点減させます。
- 2 「速度アップ△」「速度ダウン▽」ボタンを押し、目標時間してからスタートして下さい。目標数値になりますと自動で停止します。
- 3 目標時間設定範囲は 0～99：59 分までとなっています。

※ 尚、設定時間は 1 分単位での設定となり秒単位では設定出来ません。

● 目標距離設定

- 1 「設定」を押し、「距離」を点減させます。
- 2 「速度アップ△」「速度ダウン▽」ボタンを押し任意の数値にします。
- 3 スタートボタンを押すとベルトが動き出し、目標値になりますと自動で停止します。
- 4 目標距離設定は 0 km～99.99 km までとなっています。

※ 尚、目標距離は 0.1 ㎞（100 ㍎）単位での設定となります。

※ 設定によっては、最大使用時間（60分）を超えてしまうことがあります、最大使用時間を厳守してください。

● 目標カロリー設定

- 1 「設定」ボタンを押し、「カロリー」を点減させます。
- 2 「速度アップ△」「速度ダウン▽」ボタンを押し任意の数値にします。
- 3 スタートボタンを押すとベルトが動き出し、目標値になりますと自動で停止します。
- 4 目標カロリー設定は 0～999 までとなっています。

*設定によっては、最大使用時間（60分）を超えてしまうことがあります、最大使用時間を厳守してください。

パネルが消灯している場合にはパネルの所定の位置にセーフティキーが置いてあるか、緊急停止ボタンが押された状態になっていないか、スイッチが入っているかを確認してください。

走行ベルトの調整

本機は走行ベルト（以下：ベルト）を前後のローラーで引き、張りを持たせることで走行をさせています。現在ご使用になっている状態で不具合がない場合には、現状で使用をお続けになってください。

もし、下記のような症状があった場合に、ベルトの調整を行うようお願いいたします。

*注意：ベルト調整をする場合、3～5km/hの速度で調整をして下さい。その際、六角レンチで調整ネジを回しすぎると、急激にベルトが偏りベルトを破損するおそれがありますので、慎重に調整を行ってください。

使用中、足を踏み込むと止まってしまう／空滑りをしてしまう

- 1 右調整ネジに六角レンチを差込右回しで90度回して下さい。
- 2 左調整ネジに六角レンチを差込右回しで90度回して下さい。
- 3 左右の調整後、一旦、ベルトを止め、自身で走行してみて止まり/すべりがいいかを確認して下さい。
- 4 まだ、止まり/すべりがある場合には上記1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

ベルトが持ち上がらない（縦に指2本程度入らない）場合

- 1 右調整ネジに六角レンチを差込左回しで90度回して下さい。
- 2 左調整ネジに六角レンチを差込左回しで90度回して下さい。
- 3 ベルト中ほどの左右どちらか片方の端をつまみ上げ、指2本程度持ち上がる状態に調節できたか確認して下さい。
- 4 まだベルトが5cm以下である場合は上記1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

ベルトが右側の足踏みプレートにぶつかっている場合

- 1 本機を起動させスタートボタンをおし、スピードを3～5km/hまで上げて下さい。
- 2 右調整ネジに六角レンチを差込ベルトの寄りに応じて右回しに回して下さい。

(調整ネジを回しすぎますとベルトが急激に反対方向によりますので、調整ネジは少しずつ回して下さい。)

- 3 ベルトが徐々に左に寄ってきていることを確認して下さい。
- 4 まだベルトが右によっている場合は、1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

ベルトが左に寄っている場合

- 1 本機を起動させスタートボタンをおし、スピードを3～5km/hまで上げて下さい。
- 2 左調整ネジに六角レンチを差込ベルトの寄りに応じて右回しに回して下さい。

(調整ネジを回しすぎますとベルトが急激に反対方向によりますので、調整ネジは少しずつ回して下さい。)

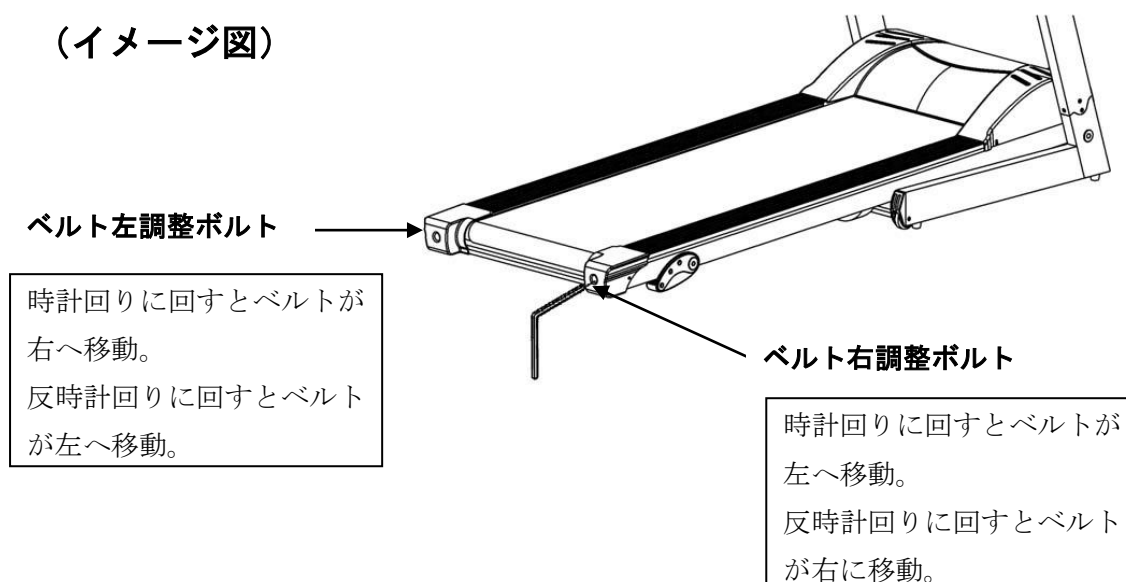
- 3 ベルトが徐々に右に寄ってきていることを確認して下さい。
- 4 まだベルトが左によっている場合は、1～3までの手順を繰り返し調節して下さい。

<ベルト調整の注意点>

左右の足踏みプレートにベルトが触れずに、回転をしていれば調整は完了です。

ベルトをプレートに擦ってキズをつけないように注意して行ってください。

(イメージ図)



潤滑剤（シリコンスプレー）のつけ方

本製品のウォーキングボード（以下：ボード）には工場出荷時に潤滑剤が塗布されていますが、ご購入後の時間経過やご使用頻度に伴いベルトの裏側やボード上に埃が溜まる等の原因で摩擦が増大し、ベルトの消耗が激しくなる・モーターの寿命が短くなるなどの現象がおき、本来の性能を維持できなくなりますので定期的に清掃と潤滑剤の噴霧が必要となります。

潤滑剤使用の目安

ご購入後の初期段階の噴霧目安

- ・ ご使用時間約100時間もしくは、ご購入後約3ヶ月の経過に伴い工場出荷時の潤滑剤の効果が徐々に無くなってきますので、市販のシリコンスプレーをホームセンター等でご購入頂き噴霧して下さい。

<上記以後の噴霧目安>

- ・ 2週間以上ご使用のない場合は、運動前に走行面等のホコリを取り除いてから、必ず噴霧して下さい。
- ・ 最低でも1ヶ月に1度以上は噴霧することを心がけて下さい。

潤滑剤の使用方法

ベルトの中ほどの左右どちらか片側の端をつまみ上げボード全体に噴霧して下さい。

※ 注意 潤滑剤を多量に噴霧するとベルトの作動にかえて悪影響（ベルトが滑る）を与えます。

※ 注意 CRC556 等機械油を潤滑油代わりに使用しますとかえて滑りを悪くします。

<使用時間を守ってください！>

本製品を末長くご使用していただくために、モーター保護等の観点から下記に示す使用時間を必ず守ってください。

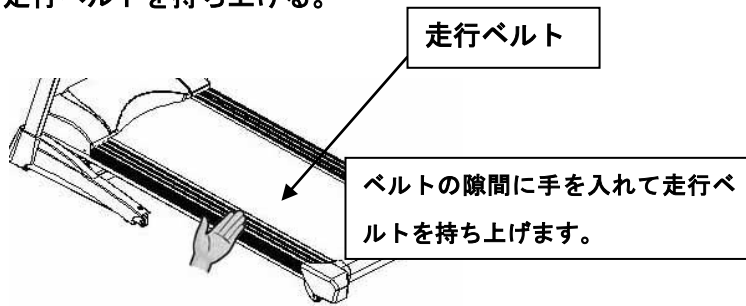
1. 連続使用時間は60分までです。
2. つぎに使用するときには、先に使った時間の2倍以上の時間をおいてからご使用ください。
(例：30分間使用⇒60分間以上機械を休ませる。(スイッチ等も切る) ⇒新たに使用開始)
3. 一日の総使用時間の限度は3時間までとします。

* シリコンスプレーを定期的に使用することも忘れずに！ (P11・12 参照)

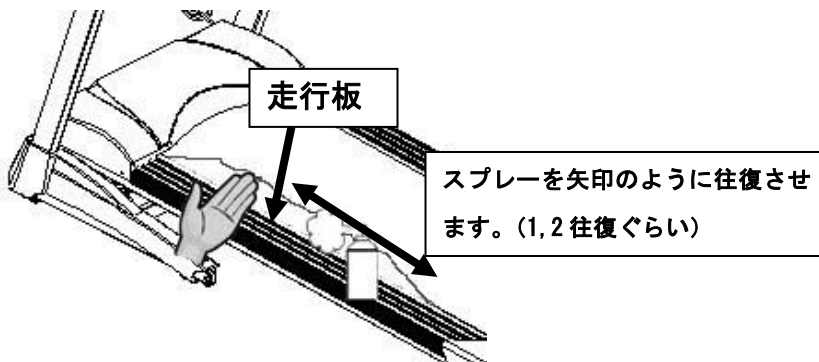
シリコンスプレーの噴霧の方法

シリコンスプレーを噴霧するときは、走行ベルトを停止させた状態で行ってください。

1. 走行ベルトを持ち上げる。



2. 持ち上げた状態で、スプレーを走行板に噴霧します。



3. 反対側からも同じように行います。

*シリコンスプレーに付属している細いノズルをつけて噴霧すると、より効果的です。

<シリコンスプレーを噴霧するときの注意点>

- ・シリコンスプレーのつけすぎには注意してください。
(つけすぎの場合、ベルトが空回りしてしまいます。)
- ・前後のローラーにかからないようにして下さい。
- ・走行ベルト表面には絶対にシリコンスプレーをかけないでください。
- ・シリコンスプレーを噴霧するときには、本体、溝等に溜まっているホコリを取り除いてから、噴霧するようにして下さい。

シリコンスプレーはお近くのホームセンター等でご購入してください。

●モーターカバー内の清掃について

モーターカバー内にはホコリ等がたまりやすく、そのまま放置し続けると、故障の原因になります。少なくとも年に1回はモーターカバーをあけてホコリ等を取り除くようにして下さい。

+ドライバーでネジを緩め、
モーターカバーを外します。



トラブルがおきたら

下記のような症状が起こった場合は、故障と判断される前に下記の点をお調べください。

症状		原因	処置
動かない (パネルが表示されない)		電源プラグが差し込まれていない 電源スイッチをオンにしていない セーフティキーをパネルにおいていない。 緊急停止ボタンが押されている。 接続が確実に行われていない。	プラグをコンセントに差し込んでください。 電源スイッチをオンにしてください。 セーフティキーをパネルにおいてください。 緊急停止ボタンを解除してください。 支柱内 (P5 参照)、パネル裏 (2ヶ所) のコネクタを再度外し、接続しなおしてください。
歩行ベルトがまっすぐにならない		歩行ベルト調整をしていない。	歩行ベルト調整をしてください。
急に止まった		セーフティキーが外れている ブレーカーボタンが飛び出している ベルトがたるんで空回りしている ベルトの摩擦が多い 静電気の可能性が考えられます (乾燥した場所等)	セーフティキーをパネルにおいてください。 しばらく操作をやめ、ブレーカーボタンを押してください。 ベルトを張りなおしてください。 シリコンスプレーを使用してください。 静電気防止スプレー等を本体やベルトに噴霧する。
歩行中空滑りや、止まったような気がする		歩行ベルトがたるんでいる モーターベルトがたるんでいる シリコンスプレーの塗りすぎ	歩行ベルトを調整してください。 モーターベルトを調整してください。 ペーパータオル等で拭いてください。
モーターが熱くなる		長時間使用した 寒さでベルトが縮んだ ベルトの摩擦が多い	60分以上操作しないでください。 ベルトをゆるめてください。 シリコンスプレーを使用してください。
本体下に粉が落ちる		歩行・モーターベルトがなじんである 靴底がこすれている	本体の下を定期的に清掃する。
音がする		ガタツキ・キシミ音がする ローラーから音がする ベルトが擦っている	設置位置を確認し、ネジを締めなおしてください。 ローラー軸部分にグリース等の機械油を吹き付けてください。 歩行ベルトを調整してください。
コンセントを差し込むと火花が出る		スイッチが入っている	スイッチを切ってから差し込んでください。

保証書

本保証書は下記の保証期間ならびに保証条件にしたがって、無償修理することをお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品名	DK-208 家庭用 前後進低速電動ウォーカー
保証期間	お買い上より1年間
お買上げ日	年 月 日
お名前	
ご住所	
T E L	— —

販売店：

- (1) 取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無料保証いたします。
 - (2) 保証期間内に故障した場合は、輸入販売元にご依頼ください。
 - (3) 保証期間内でも次の場合には保証は受けられません。
 - お買上げ後の移動、落下、転倒等の故障及び損傷
 - 本来の使用目的以外による故障及び損傷
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変・公害・塩害等による故障及び損傷
 - 保管上の不備による故障及び損傷
 - 不当な修理、改造による故障及び損傷
 - 設置場所の床面等の損傷
 - 本保証書の添付のないもの
 - 転売・譲受によるもの
 - (4) 使用に伴う消耗品は、無償修理交換の対象になりません。
 - (5) 一般家庭以外ペット、家畜等に使用された場合は、無償修理交換の対象になりません。
 - (6) 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
 - (7) 保証期間が過ぎた後の故障については有償にて修理いたします。
 - (8) 本保証書は日本国内のみ有効です。
 - (9) 本保証書は、お買上げ年月日、販売店名が記載されていないと無効です。
- ただし、お届けした際の配送伝票や購入記録が証明できるものがある場合はその限りではありません。
- * 出張修理に関しては、保証期間内でも有償になる場合があります。

フリーダイヤル：0120-25-1622

* 携帯電話、PHS、IP電話からご利用になれません。

受付時間：平日AM10～PM12時、PM1～5時までになります。

輸入販売元 大広 株式会社
〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町3-41-4 2F
TEL：03-5652-5056 FAX：03-5652-5078

受付時間 (平日AM10:00～12:00 PM1:00～5:00) 土・日・祝日休み